

自動車運転中に「緊急地震速報」を認知したら！

平成19年10月1日スタート！

「緊急地震速報」とは

「緊急地震速報」とは、気象庁が、地震の揺れを感知した際に震源位置や地震の規模、各地の震度を推定して情報を提供するもので、最大震度5弱以上と推定される地震が発生した直後に、震度4以上の揺れが推定される地域を、その揺れが来る前(数秒から数十秒前)に知らせるものです。

ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

「緊急地震速報」を認知したときは

「緊急地震速報」は、情報を認知してから地震の強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。

「緊急地震速報」を認知したときの行動は、「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。

自動車運転中に「緊急地震速報」を認知したら

- ・ 後続の車が情報を聞いていないおそれがあることを考慮し、あわててスピードを落とすことをしない。
- ・ ハザードランプを点灯するなどして、まわりの車に注意を促したのち、急ブレーキはかけずに、緩やかにスピード落とす。
- ・ 大きな揺れを感じたら、急ハンドル、急ブレーキを避けるなど、できるだけ安全な方法により、道路状況を確認して道路の左側に停止させる。



「緊急地震速報」に関するホームページ

気象庁 (<http://www.jma.go.jp/>)

緊急地震速報について (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>)